

区分	利活用の方向性	利活用方法	整備内容	課題		
河川	地域住民や沿川施設利用者等が安全・安心・快適に楽しく回遊でき、人の交流が生まれる場  水辺沿いのカフェ  水辺照明施設	① 動線の確保	<ul style="list-style-type: none"> 病院は両岸で交流できるように（横断方向の動線）【A】 左右岸を統一的に利用したい（横断方向の動線）【A・D】 	1. 人道橋【A・D】 2. 美園小学校に行ける橋【A】		
		② 休憩・にぎわい	<ul style="list-style-type: none"> 多目的利用できるオープンスペース・休憩施設【E】 川沿いににぎわいの場が欲しい【B・D・E】 滞在時間の長くなる遊歩道（目的地となるスポットを設置）【D】 住民が主体的に利用できる空間が良い【B】 川沿いの民間施設と一体的な水辺【D】 子供たちが集まり、高齢者の生きがいづくりの場【D】 	1. ベンチ【E】 2. 病院のデッキにカフェやボードウォーク【A】 3. 川沿いに飲食店・オープンカフェ【B・D・E】 4. 川沿いの残地を活かした公園（遊具や砂場）【B・E】 5. 子供や高齢者が集まる空間【D】		
		③ 利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> 看板やトイレ、水道などの施設が欲しい【A・D・E】 地区の歴史や地名、橋名の由来を後世に残す【D】 	1. 看板、案内板（地区の歴史などの紹介）【A・D】 2. トイレ、多目的トイレ（人目のある場所、男女比1：3程度）【A・D・E】 3. 水道【D】 4. 駐車場、駐輪場【D】		<ul style="list-style-type: none"> トイレなどの施設の維持管理の仕組みづくり【E】 住民参加に際し、左岸側と右岸側とで共通の意識が必要【D】
		④ 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 防犯やまちのにぎわいのため、夜間の水辺を明るくしたい【A・E】 川沿いの見通しが良くなるよう整備【A】 通勤、通学路として利用できる安全な道【E】 	1. 照明施設（太陽光発電や風力発電、Wifi機能付き、避難誘導等、多機能なもの）【A・E】 2. ポラス住居地のように、夜になると水辺の住居のライトが自動点灯（要協議）【A】		
	上流・下流とつながり、地域住民が健康づくり・スポーツに取り組める場  ランニングコース	⑤ マラソンランニングウォーキングサイクリング	<ul style="list-style-type: none"> マラソン大会をしたい【A・B】 ランニングコースとして利用したい【A・B】 安全なウォーキングスペースとしたい【A・D】 大通りの下を通れるようにしたい（縦断方向の動線）【A、E】 自転車も安全に通行できるようにしたい（高校生の通学路など）【A・E】 草加まで連続させる【A】 	1. 距離標【A・B】 2. 遊歩道（統一性のある舗装、クッション性のある舗装）【A・B・D】 3. 歩行者路と自転車路の分離（自転車道）【A・D・E】 4. 橋のアンダーパス【A、E】 5. サイクリングステーション（レンタサイクル、空気入れ）【A・E】 6. フルマラソン道（草加から連続）【A】 7. ランニングステーション（埼スタ）【A・B】	<ul style="list-style-type: none"> 人が増えるとゴミが増える【A】 	
		多様な生物が棲み、子供が自然と触れ合える場  親水施設	⑥ 水遊び・親水	<ul style="list-style-type: none"> 子供が遊べる親水公園【A・D・E】 川を活用したアクティビティ【D】 川に近づく動線が必要【D】 魚釣り【D】 	1. 公園に水を引き込む、水深の浅い場所をつくる【A・D】 2. 水辺に近づける護岸（階段護岸、緩勾配の斜面）【D】 3. 釣り場【D】 4. 水質改善（汚泥対策も）【A・B・D・E】	<ul style="list-style-type: none"> 川に対する認識の改革が必要（汚い・怖い・近寄らない）【D】 草地は草刈り等を行い管理する必要がある【E】 芝生は管理が難しい【A】 安全性の確保が必要【B・E】
			⑦ 舟運	<ul style="list-style-type: none"> 舟運を復活させたい【B】 	1. 船着場【B】	<ul style="list-style-type: none"> 川幅が狭く舟運は厳しいのではない【B】
	自然	⑧ 植栽	<ul style="list-style-type: none"> 連続した並木が欲しい【A・B・E】 花見（桜など）ができる場所【A】 河道内にも植栽する（ショウブなど）【A】 	1. 河川沿いに連続した並木を植栽（桜や四季を感じる植物）【A・B・E】 2. 植木の産地であることを生かし住民購入・住民管理で植木を植える【B】	<ul style="list-style-type: none"> 樹木の毛虫対策【E】 私有地を利用した公共空間整備の場合は私有地側のセキュリティ対策が必要【A】 	
		⑨ 自然保全 自然体感	<ul style="list-style-type: none"> 子供と自然（水辺生物）のふれあいの場が欲しい（生物調査等）【A・D】 生物がすみやすく多様な生物（ザリガニ、フナ、ホタルなど）が生息する場が必要【A・D・E】 専門家による調査【D】 	1. ビオトープ（自然の水族館）【D】 2. 水質改善【A・B・D・E】	<ul style="list-style-type: none"> 現在の自然をどう保全していくか【D】 川のきれいさに周囲の人が関心を持つ方法を考える（数値で見えるようにする）【A】 	

綾瀬川デザインワークショップ 水辺利活用方法・整備内容 ワークショップ総括案 (2/2)

赤字：第2回WSでの追加意見

青字：第3回WSでの追加意見

区分	利活用の方向性	利活用方法	整備内容	課題	
調節池（大門上池）	利用	⑩ キャンプ バーベキュー	・ キャンプ場・バーベキュー場として活用したい【B・E】	1. バーベキュー広場（BBQ 機材の貸出を周辺店舗が実施するなど）【B・D・E】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域経済活動の必要性の認識【D】 ・ 使用ルールづくり（騒音、ゴミ、臭い、飲酒等）【E】 ・ 小学校や地域の理解【E】 ・ 施設の維持管理の仕組みづくり（洪水後の掃除なども含）【B・D・E】 ・ 安全性の確保【E】 ・ 制度や費用のリスクを負わない方法【D】 ・ 洪水時の芝生広場浸水による芝生育への影響確認【D】
		⑪ 二輪スポーツ活用	・ 二輪イベントの開催（メッカに）【D】 ・ ペダル無し自転車（ストライダー）の練習や競技に利用 【E】	1. 池底の平坦なアスファルト舗装【D・E】 2. 調整池斜面の観客席【D】 3. 池周囲の柵設置（安全性確保）【D】	
		⑫ イベント活用 スポーツ活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽イベントや食フェスなど、サッカー関連以外のイベント利用【D・E】 ・ 様々なスポーツができる場所が欲しい【A・B・D・E】 ・ 住民が利用できる身近な公園やスポーツ施設が欲しい【B】 ・ 埼玉を訪れる人が立ち寄る場所にしたい【D】 ・ フィルムコミッション（撮影場誘致）として活用【D】 ・ 避難訓練場所として活用【D】 ・ 池底広場を利用した総合型地域スポーツクラブ運営【A】 ・ 周辺用地にプール、シャワー施設などが欲しい【A】 ・ 小学校の運動会の開催【D】 ・ 夜間利用時の照明施設が欲しい【E】 	1. 多目的広場（舗装）【B・D・E】	
				2. スポーツ（テニス、サッカー、野球）広場（芝生）【A・B・D・E】 （芝生化プロジェクトの活用：日本サッカー協会）	
				3. 水道【D・E】	
	⑬ 駐車場利用	・ 埼玉の駐車場として活用【A】	4. トイレ【D・E】 5. カフェ（張り出しデッキなど） 【A】 6. スポーツ関連施設（プール、シャワーなど） 【A】 7. 照明施設 【E】		
	⑭ 埼玉へのアクセス路の整備	・ 将来的な浦和美園駅と埼玉の動線の確保【A】	1. 現在の駐車場をそのまま利用【A】		
	⑮ 水遊び・親水	・ 池の水を常時残し、釣り場として利用【B】	1. 調整池中央への通路や橋などの整備【A】		
	自然	⑯ 植栽	・ 池の周りにも並木が欲しい【E】	1. 釣り場【B】	
		⑰ 生物生息空間の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野鳥が来る自然を残したい【A・B】 ・ 用水路を活用して用水路と池、川の水の連続性を確保する【A・D】 ・ 優先的に池のビオトープの水質浄化を行う【E】 	1. 現在の水たまり程度の大きさの ビオトープ【A】 2. 池に水草を育成【E】 3. 用水路と池の接続水路【A】 4. 水質浄化（水の循環） 【E】	
まち全体	⑱ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に愛される場とするため愛称を設定【D】 ・ 周辺の都市公園と連携した整備【A】 ・ 幹線道路に賑わい施設を整備することで、綾瀬川沿いにも賑わいを発生させる。【B】 	1. 愛称を公募する【D】		
	⑲ ミズベリング	・ ミズベリングへ登録しまち全体の水辺利用の機運を高める【D】	1. ミズベリング登録 【D】	<ul style="list-style-type: none"> ・ まち全体での盛り上げ方を検討する必要がある【B・D】 ・ スタジアム参道をもっと活用すべき【D】 	

【 】：ワークショップにおいて意見のあった班名（ワークショップはA、B、D、E班の4班体制で実施）

区分	主体	整備	利活用	維持管理
綾瀬川	住民	<ul style="list-style-type: none"> 川沿いへの記念植樹（自費）【B】 広報誌作成【B】 看板作成（歴史、小学校と協働、間伐材活用）【D、E】 川舟展示整備【D】 	<ul style="list-style-type: none"> 施設を利用した人が使用料を支払う仕組みが必要（適正な使用料設定をする）【B】 	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 川沿い、公園の草刈り【A、B、E】 トイレ清掃【B、E】 不法利用を抑制するための見回り【D】 <p>【手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> UDCMiのような組織（県が維持管理を委託）をつくり、住民がボランティアとして登録（ボランティアに参加しやすい仕組みづくり）【A、B、E】 ボランティアにも費用を支払う仕組みを作る【A、B、E】 草の回収は行政が行う等、役割分担が必要【B、E】 管理区間を区切り、自治会単位で実施【E】 植樹は維持管理しやすい樹種とする（落ち葉が少ないなど）【D】 イベントと合わせた維持管理を行い、楽しく継続性のある活動とする【E】 維持管理費用は、企業が管理する場合と地元が管理する場合では金額が異なってくるのでは【A】
	民間企業	<ul style="list-style-type: none"> 川沿い（病院や商業施設）の賑わい施設（コミュニティカフェ）【A、E】 川沿いへの並木（桜など）【A】 風力発電【B】 有料トイレ（WAON等の電子マネーを使用）【A、B】 幹線道路への賑わい施設整備→河川にも賑わいが生まれる【B】 	<ul style="list-style-type: none"> 川沿いに花見をできる場所が必要【A】 カフェの運営【A、E】 	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 川沿いの道路や水辺、桜並木の管理【A、E】 ビオトープの管理【D】 <p>【手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町をきれいにすればポイントがもらえる仕組みを作る（例：WAONポイント、地域通貨）【B】 企業の宣伝をする代わりに維持管理をしてもらう【B】 地元と企業が連携して管理する【A】
	その他団体	<ul style="list-style-type: none"> 整備や維持管理がしやすいよう公共空間整備や利用に対する規制緩和が必要【E】 	<ul style="list-style-type: none"> 美園小学校付近では、環境学習に活用できるように水辺に近づきやすい整備【D】 	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理を小学校の活動に位置づける【D】
	その他団体	<ul style="list-style-type: none"> 沿川住民や企業が水辺を魅力あるように運営（利活用や維持管理）していく組織づくり（NPOやUDCMiなど）【A、E】 学生（高校や大学）などの力を借りて多様な年代が参加する組織づくり【E】 維持管理の中心となる団体はバランスの取れた組織が良い（多様な考えの人が参加できるように）【E】 採算性について事前調査が必要【D】 		
調節池	住民	<ul style="list-style-type: none"> ビオトープや水田（小学校の環境学習などに利用）【A、E】 芝張り（日本サッカー協会のプロジェクトを利用）【B】 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ広場の使用料を支払い、維持管理費に充てる【A、D】 ビオトープの保護、活用【D】 	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ビオトープなどの維持管理（利用する学校単位で実施）【A、E】 不法利用を抑制するための見回り【D】
	民間企業	<ul style="list-style-type: none"> 釣り場（維持管理も含む）【D】 	<ul style="list-style-type: none"> フリーマーケットや野外フェス【A】 二輪スポーツ広場の運用【D】 利用収入の一部を維持管理費にする【D】 	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ビオトープのPR活動、維持管理資金提供【D】 <p>【手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> BBQ資材貸出を周辺店舗に行ってもらおう【B】
	その他団体	<ul style="list-style-type: none"> 調節池内は、整備、運営、維持管理を一括して体力のある民間企業で運用【E】 禁止事項や制限が多いと有効に使えないため、行政が規制を緩和する必要がある【E】 スポーツ広場整備（行政と協働）【D】 上池が利用中心であれば、下池を自然や動物が豊かな場とする【A、B】 洪水後の調節池の清掃（堆積土砂等の撤去など）の役割分担を決める必要がある【B】 洪水時の芝生広場浸水による芝生育への影響確認【B、D】 	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自治体による管理、または管理組合による管理【D】 埼玉スタが調節池とその周辺も含めた管理を行う【A、E】

【 】：ワークショップにおいて意見のあった班名（ワークショップはA、B、D、E班の4班体制で実施）